

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和6年10月14日(月・祝)		
事業名	ちばアカデミア講座3		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	60名	募集期間	令和6年8月27日から令和6年10月7日
参加者数	80名 [対面51名、オンライン29名] ※サテライト会場はなし	参加費用	無料
講師 等	東京大学 新領域創成科学研究科 人間環境専攻 客員教授 持丸 正明 氏		
実施内容	内容:「人に寄り添い人を高める「人間拡張技術」 ～身につけるデバイスでカラダと気持ちをパワーアップ～」 日程:午後1時55分～午後2時 オリエンテーション 午後2時～午後3時40分 講演 午後3時40分～午後4時 質疑応答、アンケート記入、閉演   会場の様子 持丸講師		
参加者 アンケート	【満足度100%】 ○「人間拡張技術」は初めてだったが、具体的な事例やデータに基づいたユニークな講演で感銘を受けた。 ○柏の葉に引っ越してきて良かったと思わせる内容であった。 ○変化の激しい現在、自分に不足している知識充足に大いに役立っている。 ○知らない分野の貴重な話を聞かせていただいた。持丸先生が Social Lab としている柏の葉が今後どのような街づくりをしていくか大いに期待している。		

	○「人間拡張技術」という言葉自体、あまり耳慣れない言葉だが、高齢化における人間機能低下を抑制・助長するため、高齢化社会における移動手段の援助等のため、現実社会に役に立っている技術であるということが、少なからず理解できた。今後の研究に期待している。 ●豊富な内容に対して時間が短く、話の展開が速すぎると感じた。何回かに分けて設定していただけるとありがたい。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、聞き馴染みのない「人間拡張技術」を柏の葉という身近な地域と絡めながら、具体的事例やデータに基づいてわかりやすく講演いただいたことにより大きく貢献できたと考える。 ・オンライン配信については、会場の声を鮮明に届けられるようにした。オンラインに関する否定的な意見もなかった。予備機を用意しておくと安心できる。 【課題・今後の方向性】 ・「受講不可のみ連絡をする」とチラシに掲載しているが、受講の可否の問い合わせが多い。もう少し上記部分を目立たせる必要があると思った。 ・動画を視聴する際、予備機から音声を流して対応しているが、オンライン受講者の音声を会場に流していることになるため、映像とのタイムラグが生じていた。特に会場受講者から意見はなかったが、なるべくタイムラグがないよう検討していく必要がある。